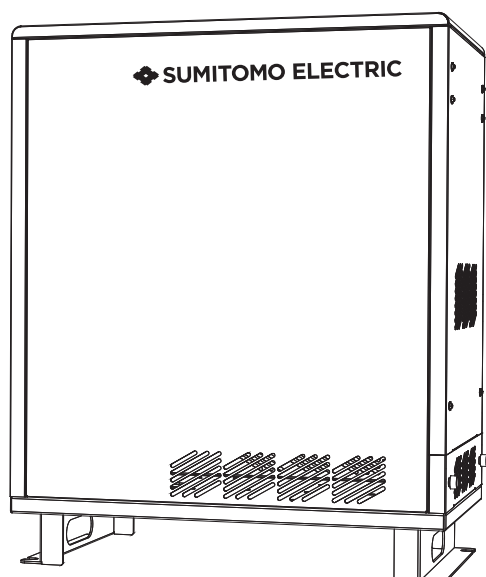


取扱説明書

家庭用蓄電システム POWER DEPO®Ⅲ

型番 PDS-1500S01



もくじ

本製品の特長	2
もしもの「安心」、いつもの「節電」	3
安全上のご注意	4
本蓄電システムの概要	9
室内リモコン各部の名前とはたらき	12
室内リモコンの操作のしかた	13
運転する	16
運転モードを選ぶ	18
停電になったときは	20
非常時の設定について	21
2台設置(増設)機能について	22
放電を停止する電池残量を設定する	23
充放電の時間を設定する	23
ネットワークの設定をする	24
ネットワークの設定を確認する	26
インターネットとの接続を確認する	27
画面表示や操作音の設定を変える	28
日時を設定する	29
設定を初期化する	30
機器情報を確認する	31
室内リモコンをリセットする	31
メニューから設定できる項目	32
こんなときは	33
こんなエラーが出たときは	35
点検とお手入れ	39
停電時の家電製品の利用について	40
保証とアフターサービス	41
お客様の個人情報の取得・取扱いに関して	42
仕様	43
外形寸法	44

保証書別添付

このたびは、家庭用蓄電システム POWER DEPO®Ⅲをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用の前に、“安全上のご注意”を必ずお読みください。

■この取扱説明書は、必要なときにいつでもすぐに見られる場所に必ず保管してください。

■保証書は、「お引き渡し日」、「販売会社名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書と共に大切に保管してください。

この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

日本国内専用品
Use only in Japan

本製品の特長

リチウムイオン蓄電池搭載

3.2kWh*のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※使用開始時に周囲温度25℃で放電深度が100%のときの状態の為、実際に使用できる容量とは異なります。
また、低温時は容量が一時的に減少する場合があります。

室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。タッチパネルを採用し、直感的操作が可能な仕組みで、かんたんに操作できます。非常時は、画面のメッセージでお知らせします。

安心の10年保証

長寿命のリチウムイオン蓄電池だから、長くご使用いただけます。

10年間の保証付きで、万が一のときも安心です。詳細は、保証書の内容をよくお読みください。

2台設置(増設)機能搭載

使用目的(停電時のバックアップ時間の延長、太陽光発電の自家消費等)に応じて3.2 kWhの蓄電システムを2台設置して6.4 kWhの蓄電システムとして使用することができます。

先に1台設置していても、後からでももう1台を設置(増設)することができます。

もしもの「安心」、いつもの「節電」

節約方法を選ぶ3つの運転モード

電気料金の安い時間帯の電力を蓄電池に充電する「通常モード」、太陽電池で発電した電力を蓄電池に充電する「グリーンモード」の2つのモードがあります。充電しておいた電力は、電力使用ピーク時に活用でき、電気料金の節約になります。

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

●通常モード

充電を割安な時間帯に、放電を電力使用量ピーク時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。また、太陽電池で発電した電力の余剰分はしっかり売電します。

経済性を重視したエコノミー設定です。もし、天気が悪く、太陽電池で発電した電力が無い場合でも、蓄電池から放電することで、割高な時間帯の電力使用を抑えることができます。

●グリーンモード

太陽電池で発電した電力は優先的に家庭で使用し、ゼロエミッションを目指すモードです。昼間、太陽電池で発電した電力の余剰分はできるだけ蓄電池に充電し、夜の電力使用ピーク時に活用します。自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードです。

環境を重視したエコロジー設定です。

充電タイマーを電気料金が割安な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽電池で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。1日あたりの充放電サイクルを増やすことにより稼働率を上げ、経済効果を発揮させることもできます。

もしもの停電時も「安心」!

もしもの停電時や計画停電に備えて、蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。停電が発生すると、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わります。

●昼間の晴天時は、太陽電池で発電した電力と蓄電池を併用して電力を供給します。

●雨や曇りの日・夜間の停電でも、充電された蓄電池から電力を供給(放電)します。

●蓄電システムからの出力で停電時に液晶テレビ、LED 照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大9時間*作動させることができます。

※ 特定コンセントに約300W の家電製品を接続した場合の目安です。

実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、よく理解してください。

お読みになったあとも必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

また、人身上の傷害や財産への損害を未然に防ぐため操作は取扱説明書の指示、手順にしたがって行ない、装置や取扱説明書に表示されている注意事項は必ず守ってください。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

	警告	「死亡、または重傷 ^{*1} を負うおそれがある」内容です。
	注意	「傷害 ^{*2} を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です
	実行しなければならない内容です
	気をつけていただく内容です。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

設置に関する注意事項



警告



次のような場所への設置は行わない

蓄電システム

- 日本国外
- 省エネルギー基準地域区分1/2/8(但し、屋内は除く)
- 積雪により製品が埋没するところ(積雪地域に設置する場合は、屋根／囲い等を設ける)
- 塩害地域(日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002-1991「空調機器の耐塩害試験基準」に基づく)
- 直射日光が当たるところ
- 常時温度が40℃以上、または湿度の高いところ
- 指定の取付スペースを確保できないところ(→ P.6)
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発性／可燃性ガス、化学薬品、火気の近くまたはおそれがあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 温度変化の激しいところ(結露のあるところ)
- 騒音について激しい制約を受けるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 近くに電波妨害を受けやすい設備・機器があるところ
- 岩礁隣接地域
- 風通しが悪いところ

室内リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温度範囲以外のところ
温度:-10～+40℃、湿度:25～85%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
- 通風を妨げ、使用条件温度を超えるような押入れや階段下などの狭い場所
- 操作が困難で、表示部が確認しづらいところ

安全上のご注意 つづき



警告

❌ 次のような場所への設置は行わない(つづき)

【下表の環境を満足できない設置場所】

蓄電システム	
設置場所	屋外／屋内
使用温度範囲	-10～+40℃(直射日光が当たらないこと)※
保管温度範囲	-20～+40℃
使用湿度範囲	15～90%RH(ただし結露なきこと)
標高	1500m以下

※本体内の温度センサの計測値によります。

【下図に示すスペース・条件を確保できない設置場所】

＜取付スペース(ケーブル配線接続時・取り外し時)＞	＜取付スペース(設置後)＞
・ 前面に作業スペースが取れない場合	・ 前面に作業スペースが取れない場合
・ 前面に作業スペースが取れる場合	・ 前面に作業スペースが取れる場合
・ 最小スペース設置の場合(フィルター交換時は除く) ※風通しの悪いところに設置された場合、本体内の温度保護により運転停止する場合があります。	

! 警告

共通

! 取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社へ依頼する 不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。	⊘ 特定コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 家電製品の電源が切れ、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止します。不安定な電源なので生命にかかわる機器には絶対に使用しないでください。
⊘ 分解・改造をしない 感電や傷害を負うおそれがあります。	
⊘ 子供だけでは使わせない 感電・やけど・火災のおそれがあります。	⊘ 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない 火災・感電・故障の原因となります。

蓄電システム

! 煙が出ていたり、変なにおいがする場合、すぐに屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする そのまま使用すると、火災の原因となります。 お買い上げの販売会社へご連絡ください。	⊘ 本製品に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物をのせたりしない 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。
⊘ フィルタ点検作業に必要な箇所以外を開けない 感電の原因となります。 内部に電圧の高い部分があります。	⊘ 蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
⊘ 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。	⚡ 電気が蓄えられているので、注意する 屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。 十分に注意してください。
⊘ 可燃性ガスや引火物を近くに置かない(60cm 以内) 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。	⊘ 吸排気口などに物(金属、紙、水など)を差しこんだり中に入れたりしない(→ P.44) 火災・感電・故障の原因となります。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

共通

 1年に一度、フィルタの点検・掃除を行う 行わないと、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。	 ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふいたりしない 感電の原因となることがあります。
 取扱説明書を熟読する ご使用前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。	 特定コンセントにはポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない 非常時設定では、負荷によって使用できないものがあります。
 シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない 装置の変色の原因となります。	

蓄電システム

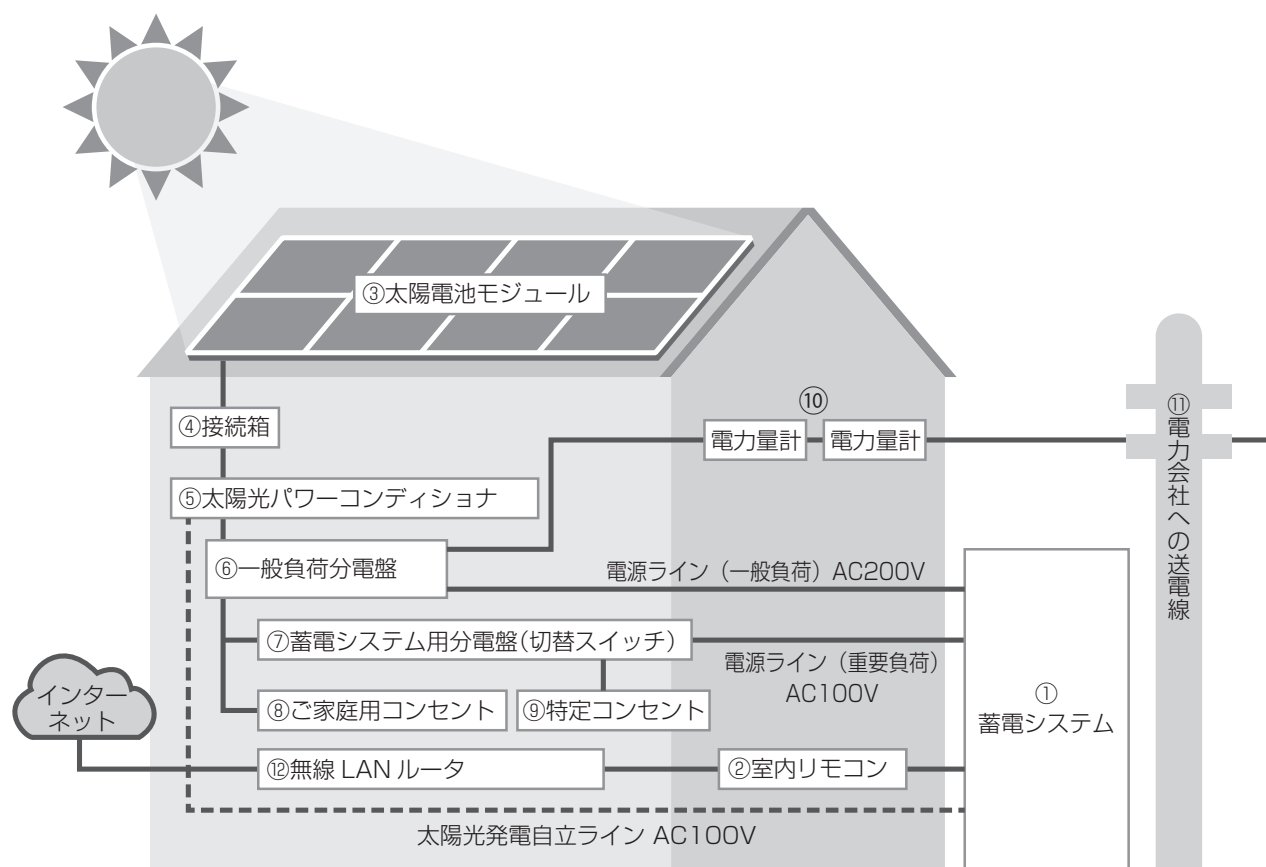
 特定コンセントにはAC100Vで最大15A(1500W)未満の機器を接続する 機器の故障の原因となることがあります。	 積雪時は吸排気口が塞がらないよう点検・除雪を行う(→ P.44) 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。
 落雪等で吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲い等の処置を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。	 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。
 吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない(→ P.44) 温度上昇によりエラー発生する可能性があります。	 一般ゴミとして廃棄しない ゴミ収集車内や集積場での発煙、発火の原因になります。 廃棄する場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。
 電源ライン(AC200V)には電力会社からの送電線以外を接続しない	

本蓄電システムの概要

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽電池と蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。

停電時には太陽電池で発電した電力または蓄電池の電力を使用して照明等の重要負荷に電力を供給可能です。

蓄電システム用分電盤を使用するシステム構成(2台設置なし)



① 蓄電システム

リチウムイオン電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、太陽電池で発電した電力または系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電します。

④ 接続箱

太陽電池モジュールからのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。

⑤ 太陽光パワーコンディショナ

太陽電池で発電した電力(直流)を、ご家庭で使える電力(交流)に変換します。
また、太陽光発電システム全体の運転を制御します。

⑥ 一般負荷分電盤

漏電ブレーカと太陽光発電用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

⑦ 蓄電システム用分電盤(切替スイッチ)

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム/系統)を切り替えるスイッチが内蔵された分電盤です。
蓄電システム用分電盤を使用しない場合のシステム構成はP.11をお読みください。

⑧ ご家庭用コンセント

⑨ 特定コンセント

停電時に利用したい機器を接続して使用します。

⑩ 電力量計

売電用と買電用の2種類があり、電力会社に売った余剰電力(売電)と、買った電力(買電)を計量します。

⑪ 電力会社への送電線

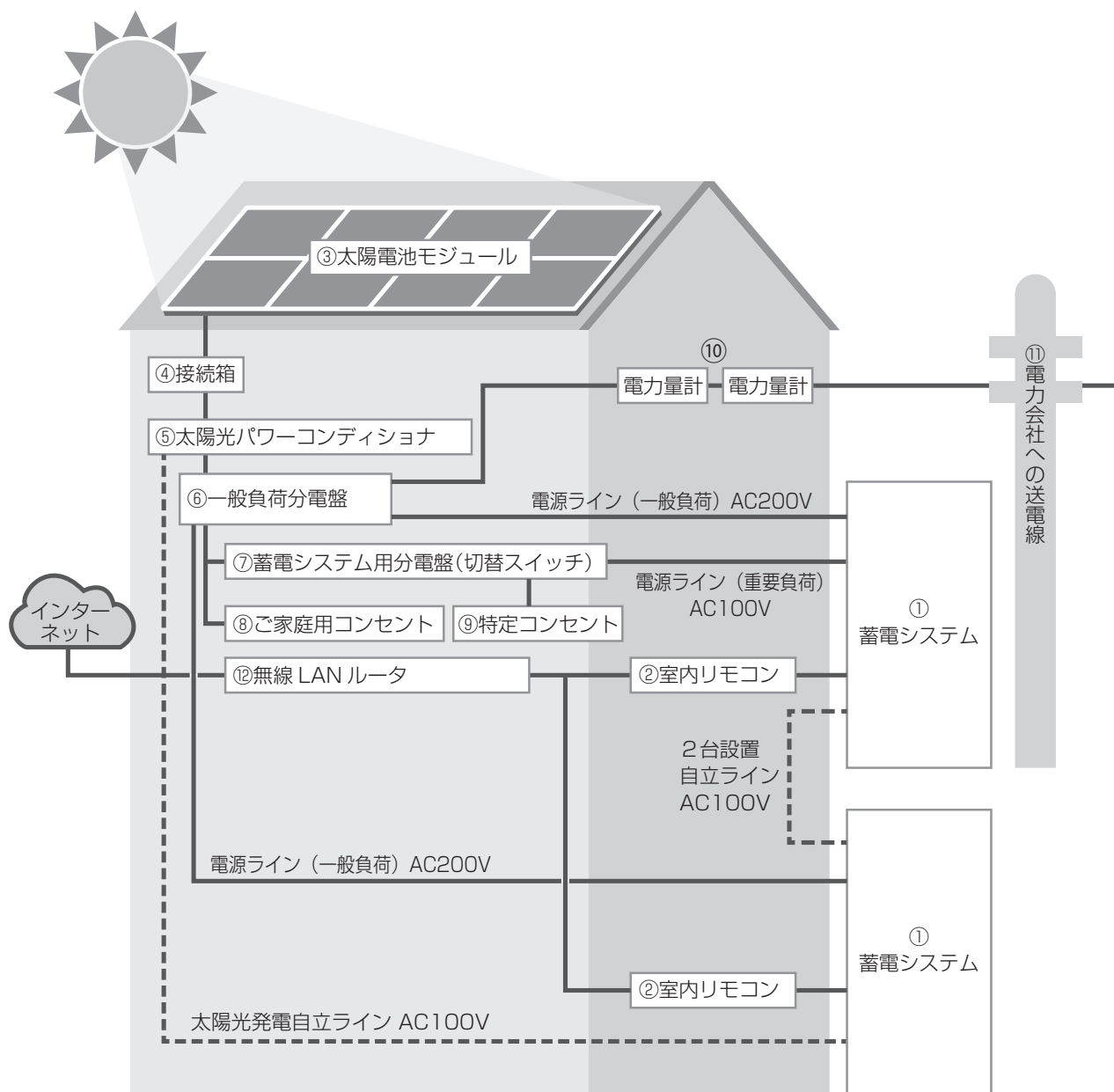
不足電力を電力会社から購入し(買電)、余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

⑫ 無線LANルータ

室内リモコンがインターネットに接続する際に使うルータです。

本蓄電システムの概要 つづき

蓄電システム用分電盤を使用するシステム構成(2台設置あり)

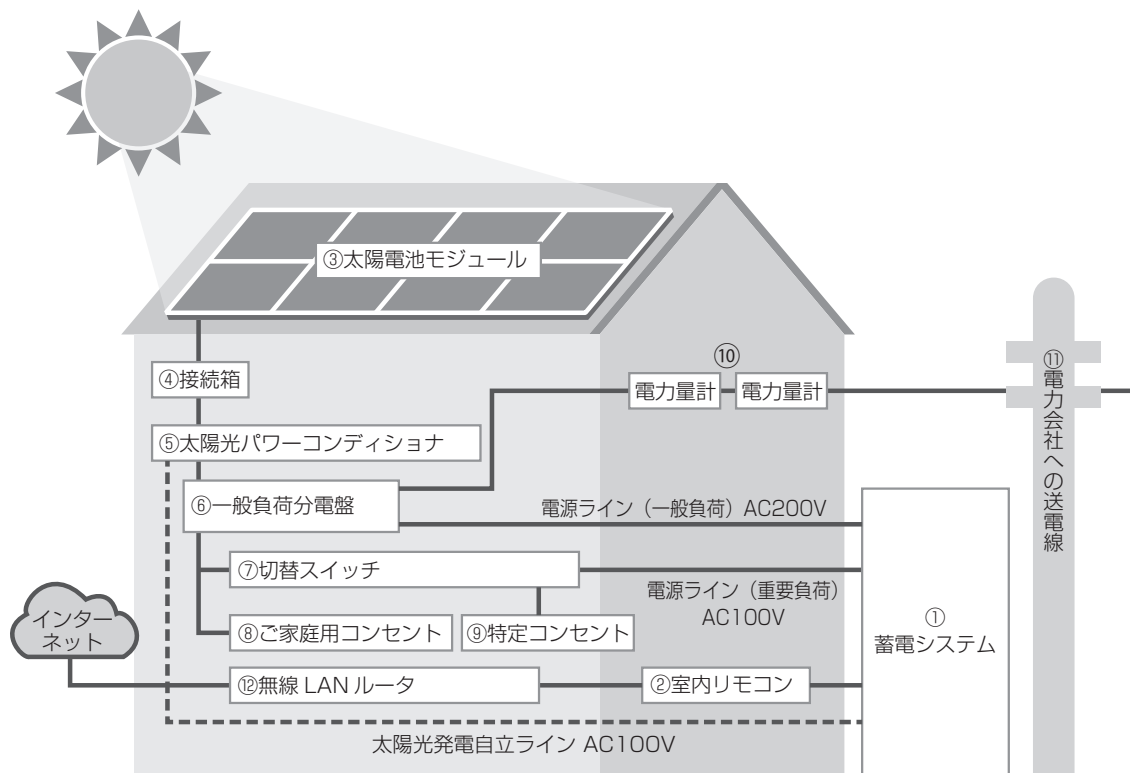


蓄電システム用分電盤を使用しないシステム構成

切替スイッチを使用する場合、切り替えることで平常時は系統から、停電時は蓄電システムから特定コンセントに電力供給できます。切替スイッチを使用しない場合は、停電時にのみ特定コンセントへ電力供給できます。

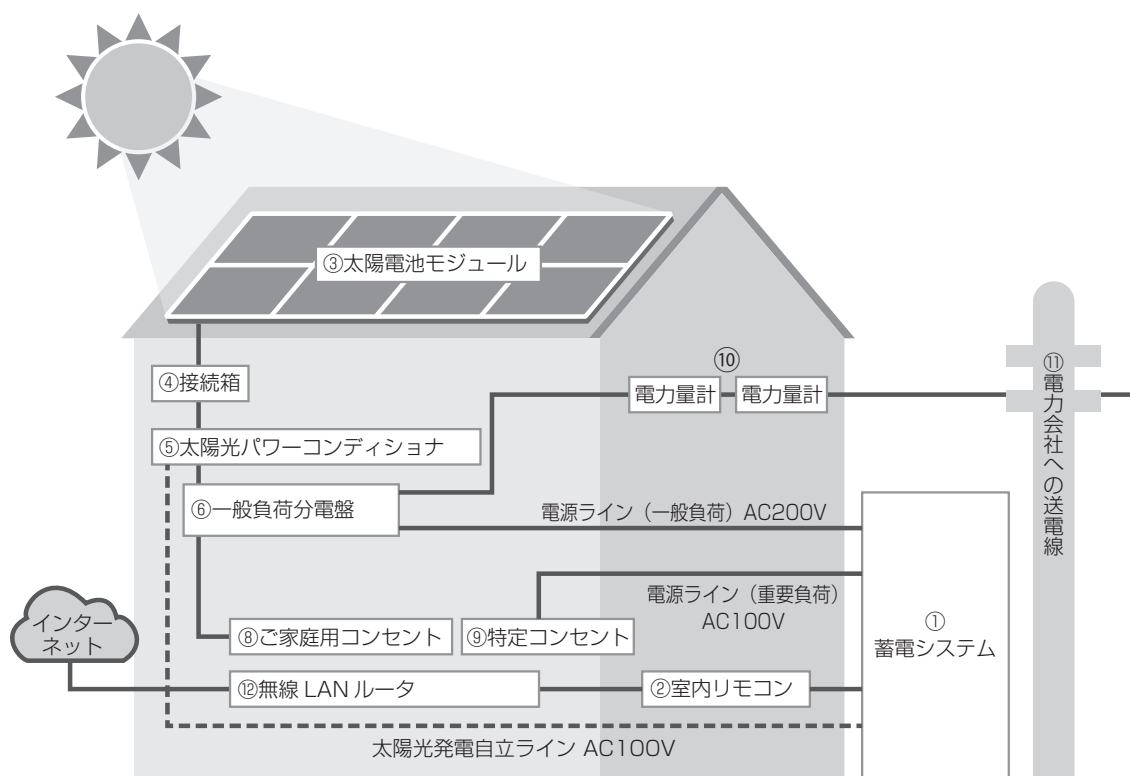
■切替スイッチのみ使用する場合

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム／系統)を切り替えることができます。



■切替スイッチを使用しない場合

停電時にのみ特定コンセントに電力を供給します。



室内リモコン各部の名前とはたらき

室内リモコン本体

操作キー（タッチパネル、選択ボタン）を押して様々な操作を行います。

	① アイコン	：自立時に点灯し、連系時に消灯します。 ：エラー時やネットワークの切断時に点灯してお知らせします。
	② 表示画面	発電量、消費電力量、売買電力量、蓄電池の状態を表示します。(➡ P.13、P.14)
	③ 操作キー (タッチパネル)	：運転／停止します。
		：各メニュー項目を開きます。
		：決定します。
		：前の画面に戻ります。
	④ 操作キー (選択ボタン)	、、、：各方向へ移動します。
		発電 ：発電電力、発電電力量を表示します。
		消費 ：消費電力、消費電力量を表示します。
		売買電 ：売買電力、売買電力量を表示します。
		蓄電池 ：蓄電池の状態を表示します。
	⑤ ブザー	ブザーが鳴ります。
	⑥ リセットボタン	室内リモコンのマイコンをリセットします。

室内リモコンの表示画面の見かた

表示画面は以下の内容を表示しています。

蓄電システムの状態を表示します。(➡ P.13、P.14)

時刻を表示します。

「AM/PM」と24時間表示を切り替えることができます。(➡ P.28)

運転モードを表示します。

(：通常モード、：グリーンモード)

充電タイマーまたは放電タイマーを設定しているときは、 が2秒おきに表示されます。

ECHONETLite運転のときは、：充電、：放電、：待機が表示されます。

選択中の情報を表示します。

2台設置の状態を表示します。

表示	2台設置の状態
なし	2台設置なし
1	2台設置あり(蓄電池1)
2	2台設置あり(蓄電池2)

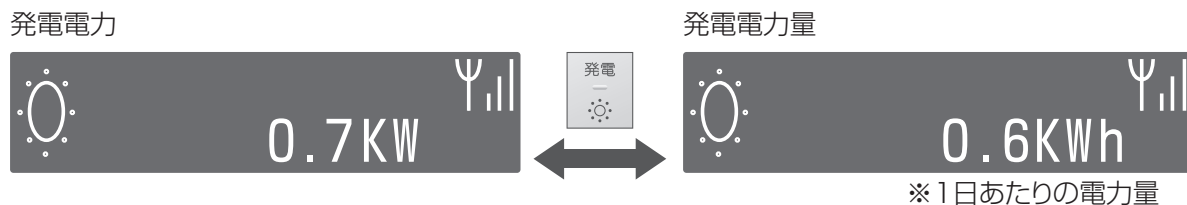
無線接続の状態を表示します。

未接続	接続中	ECHONETLite運転
	Lv0 Lv1 Lv2 Lv3	

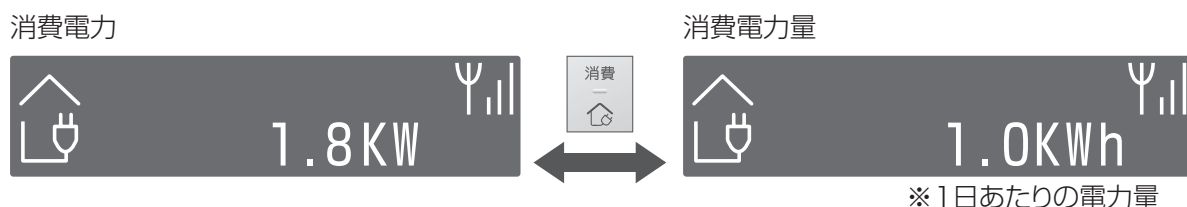
室内リモコンの操作のしかた

画面表示を切り替える

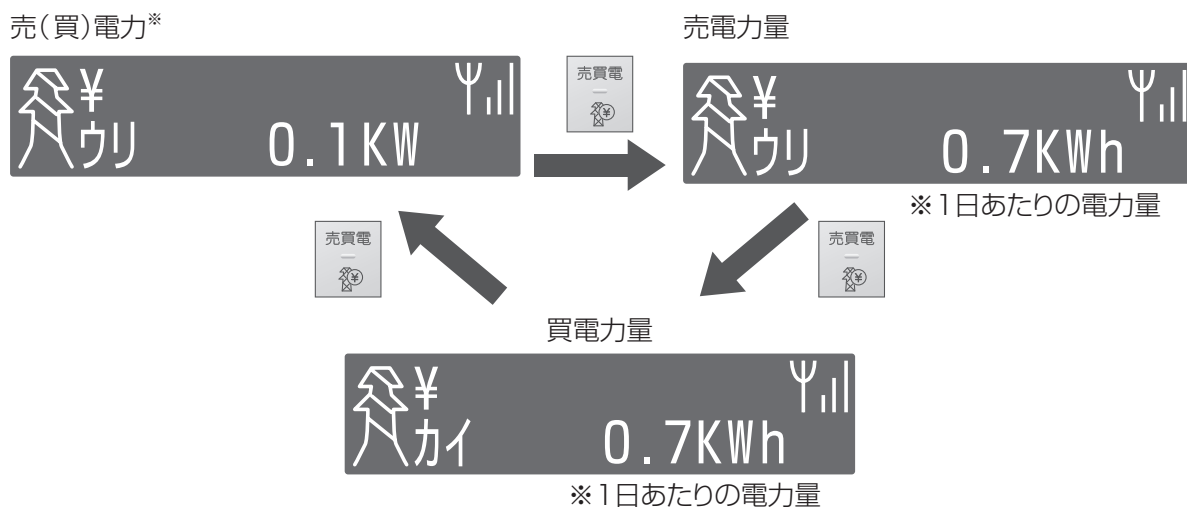
●発電電力と発電電力量の表示を切り替える



●消費電力と消費電力量の表示を切り替える



●売(買)電力と売(買)電力量の表示を切り替える



電力の売買が行われていないときは  と表示されます。

※売電力時は「ウリ」  、買電力時は「カイ」  と系統の売買電力が表示されます。

売電力量、買電力量は運転開始後の1日あたりの電力量(0:00~23:59)になります。

室内リモコンの操作のしかた つづき

●蓄電池の表示を切り替える

■連系運転の場合

充放電電力^{※1}



電池の残量



■自立運転の場合

充放電電力^{※1}



電池の残量



蓄電池を運転できる残り時間^{※2}



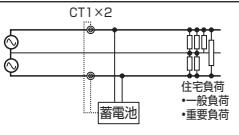
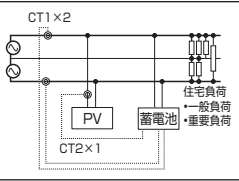
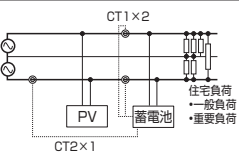
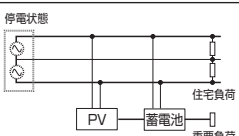
※1: 充電時は「+」、放電時は「-」、待機時は符号なしで蓄電池の充放電の電力を表示します。

※2: 残り時間(目安)は、蓄電池から電力を供給できる時間を、消費電力と電池の残量を元に計算して表示します。

※3: 低温時は蓄電池特性上、電池の残量が急に低下することがあります。
その際に停止時の電池の残量が0%でない場合や、放電停止SOCを下回る場合があります。

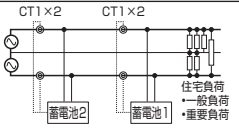
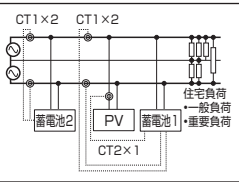
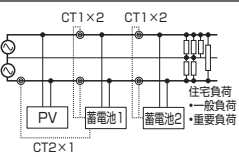
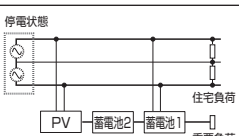
●操作キー（選択ボタン）で画面表示する電力

■2台設置なしの場合

		接続図	売買取電 	消費 	蓄電池 	発電 
発電機器	・蓄電池		系統の電力	住宅の消費電力	蓄電池の電力	表示なし ^{※2}
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (シングル)		系統の電力	住宅の消費電力 ^{※1}	蓄電池の電力	太陽電池(PV) の電力 ^{※1}
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (ダブル)		買電: 系統の電力 売電: PVの電力 ^{※1}	住宅の消費電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV) の電力 ^{※1}
	・蓄電池 @自立運転		表示なし ^{※2}	重要負荷の電力	蓄電池の電力	太陽電池(PV) の自立電力

■2台設置ありの場合

・上段が蓄電池1、下段が蓄電池2に対応するリモコンを操作時の表示です。

		接続図	売買取電 	消費 	蓄電池 	発電 
発電機器	・蓄電池		表示なし ^{※3}	住宅の消費電力	蓄電池1の電力	表示なし ^{※2}
			系統の電力	表示なし ^{※4}	蓄電池2の電力	
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (シングル)		表示なし ^{※3}	住宅の消費電力 ^{※1}	蓄電池1の電力	太陽電池(PV) の電力 ^{※1}
			系統の電力	表示なし ^{※4}	蓄電池2の電力	表示なし ^{※5}
	・蓄電池 ・太陽電池(PV) (ダブル)		買電: 系統の電力 売電: PVの電力 ^{※1}	表示なし ^{※4}	蓄電池1の電力	太陽電池(PV) の電力 ^{※1}
			表示なし ^{※3}	住宅の消費電力	蓄電池2の電力	表示なし ^{※5}
	・蓄電池 @自立運転		表示なし ^{※2}	重要負荷の電力	蓄電池1の電力	表示なし ^{※5}
				表示なし ^{※4}	蓄電池2の電力	太陽電池(PV) の自立電力

CT1: 系統用CTセンサ

CT2: PV計測用CTセンサ

※1: CT2(PV計測用CTセンサ)が取り付けられていない場合は「ハツデンCTナシ ヒョウジデキマセン」のメッセージが表示されます。

※2: 対応していないため、「ヒョウジデキマセン」のメッセージが表示されます。

※3: 対応していないため、「リモコンX/バイバイデンヲ カクニンネガイマス」のメッセージが表示されます。

※4: 対応していないため、「リモコンX/ショウヒヲ カクニンネガイマス」のメッセージが表示されます。

※5: 対応していないため、「リモコンX/ハツデンヲ カクニンネガイマス」のメッセージが表示されます。

●蓄電池のリモコン表示と外部発電機器(太陽光発電)の発電量表示は、計測点や演算処理の違いにより、一致しないことがあります。

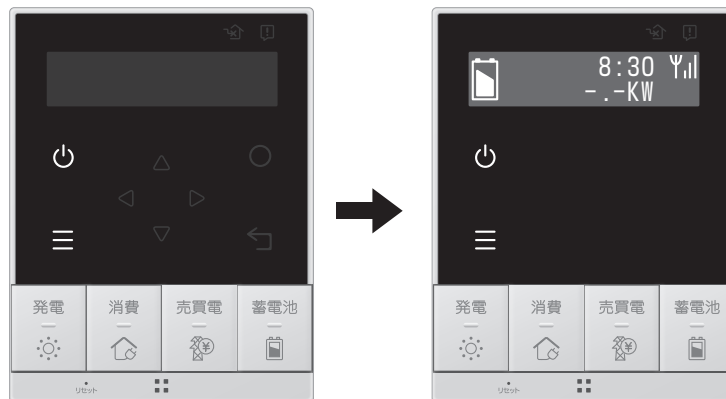
運転する

通常の連系運転

電力会社からの電力または太陽電池で発電した電力、蓄電した電力を一般負荷分電盤に供給します。

1 操作キー(タッチパネルまたは選択ボタン)を押す

スリープ状態が解除されます。本体が停止時には、蓄電池の電力表示が「-.KW」と表示されます。



<スリープ状態>

2 電源キーを1秒間、長押しする

蓄電システムの運転を開始します。

運転が開始されると、蓄電池の電力が数字で表示されます。

ウンテン カイジチュウ..

ウンテン カイジシマシタ



- ・ 運転開始操作後、LCDtentウで設定した時間(➡ P.28)が経過するとパネルがスリープ状態となり運転ボタンとメニューボタン以外の表示が消えます。



<スリープ状態>

●運転を停止する

1 操作キー(タッチパネルまたは選択ボタン)を押す

2  を1秒間、長押しする



3   で「ハイ」を選ぶ



4  を押す

ウテン テイシチュウ...



ウテン テイシマシタ

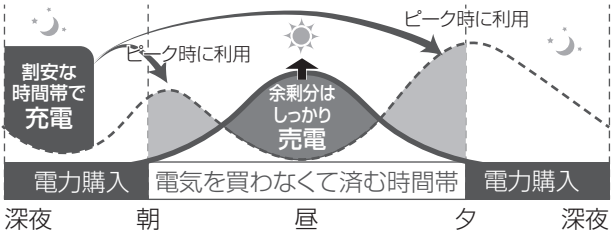
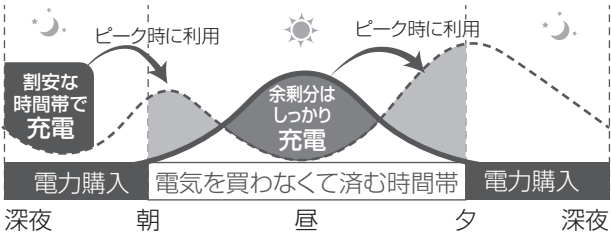
- 運転停止開始操作後、LCDテントウで設定した時間経過するとパネルがスリープ状態となり運転ボタン  とメニューボタン  以外の表示が消えます。運転停止中、運転ボタンは暗く表示されます。
- 運転停止すると充放電動作をしない状態になるため、必要時以外は運転を停止しないようにし、なるべく早めに運転を開始するようにしてください。
- 運転を停止していても、電池の残量0%の状態が続くと電池保護のために、強制的に充電します。強制充電が完了すると、自動で運転は停止します。



が点灯したときは、「こんなエラーが出たときは」(➡ P.35)にしたがって操作してください。

運転モードを選ぶ

■2通りの運転モード

通常モード 充電を割安な時間帯に、放電を割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯は、蓄電池は契約形態に応じて放電動作を行います。 ※充放電時間の設定(➡ P.23) ※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。(➡ P.38)	 この図は、通常モードの電力使用パターンを示しています。縦軸は電力レベル、横軸は一日の時間帯（深夜、朝、昼、夕、深夜）を表します。電力購入は深夜と夕方に発生し、朝と昼には電力を買わずに済みます。充電は深夜の割安な時間帯に行われ、その電力は朝のピーク時に利用されます。また、昼間の太陽電池発電の余剰分は、夕方のピーク時に利用され、さらに蓄電池をしっかりと充電します。
グリーンモード 充電を電気料金が割安な時間帯に、設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽電池で発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。長時間、蓄電池が満充電の状態が続くと強制的に放電されます。 ※蓄電池残量が100%のときは、余剰電力を売電します。 ※蓄電池が過放電の状態が続くと強制的に充電されます。(➡ P.38)	 この図は、グリーンモードの電力使用パターンを示しています。縦軸は電力レベル、横軸は一日の時間帯（深夜、朝、昼、夕、深夜）を表します。電力購入は深夜と夕方に発生し、朝と昼には電力を買わずに済みます。充電は深夜の割安な時間帯に行われ、その電力は朝のピーク時に利用されます。また、昼間の太陽電池発電の余剰分は、蓄電池を充電するために利用され、夕方のピーク時には蓄電池から電力が供給されます。

電池のみ、ダブル設定の場合、選択できるのは通常モードのみになります。

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクデンチセッテイ

2 で「チクデンチセッテイ」を選び、を押す

蓄電池設定の画面が表示されます。

チクデンチセッテイ (1/4)
ウンテンモード ツウジ ヨウ

3 で「ウンテンモード」を選ぶ

チクデンチセッテイ (1/4)
ウンテンモード ツウジ ヨウ

4 で設定したいモードを選ぶ

蓄電システムの設置時に行う契約設定によっては、運転モードの設定はできません。

運転モードを変更する際は運転を停止してください。

2台設置(増設)時には、両方の運転モードを同一の設定値にしてください。

チクデンチセッテイ (1/4)
ウンテンモード **グリーン**

5 を押して終了する

を押すと入力をキャンセルして終了します。

■知っておいていただきたいこと

●動作について

電気のご使用量が少ない春や秋の季節、長時間ご不在時など、長時間満充電の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に放電状態^{※1}(➡ P.38)や待機状態になります。また、電気の使用量が多い時など、電池の残量0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{※2}や待機状態になりますが、故障ではありません。(➡ P.18、P.38)

※1 室内リモコンの表示画面に「キョウセイハウデンチュウ」のメッセージが表示されます。

※2 室内リモコンの表示画面に「キョウセイジユウデンチュウ」のメッセージが表示されます。

停電になったときは

停電が発生した場合

停電が発生すると、本システムは自立運転に切り替わり、特定コンセントへの放電を開始します。特別な操作は必要ありません。（ただし、停電発生時に本システムが停止していると、自立運転を行いません）

●停電時に本システムが自立運転を開始していないときは、「通常の連系運転」と同じ手順で運転を開始してください。

●特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「蓄電」側にしてください。

切替スイッチを「蓄電」側でご利用いただいた場合、停電時、自動的に特定用コンセントに電気が供給されます。

切替スイッチを「系統」側のままの場合、停電時は特定コンセントに電気が供給されません。

停電中は室内リモコンの  アイコンが点灯します（➡ P.12）。

●停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電する場合は、太陽光発電システムの運転モードを、停電中でも発電するように切り替える必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。

●太陽光発電システムの発電電力が特定コンセントの電気製品を稼働させ、さらに余剰が出た場合に、本システムが充電されます。

※充電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。

●太陽光発電システムの発電電力が少なくなり、特定コンセントの電気製品の消費電力を賄いきれなくなった場合に、太陽光発電システムは出力を停止し、本システムからの放電に切り替わります。

※放電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。

停電から復旧した場合

停電が復旧すると、本システムは停電前の連系運転モードに戻ります。特別な操作は必要ありません。

●電力会社との協議で定められた時間内（最大5分）は、復電しても停電時の動作になります。

復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。

※停電前の運転モードに戻る際に、一瞬の停電が起こります。

●特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「系統」側にしてください。

●停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電するために、太陽光発電システムの運転モードを切り替えていた場合は、太陽光発電システムの運転モードを戻す必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

●停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電が発生した場合」と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、自動で充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。

2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。

3. 電力が太陽電池から供給されると、自動で充電が開始されます。

※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。（➡ P.16）

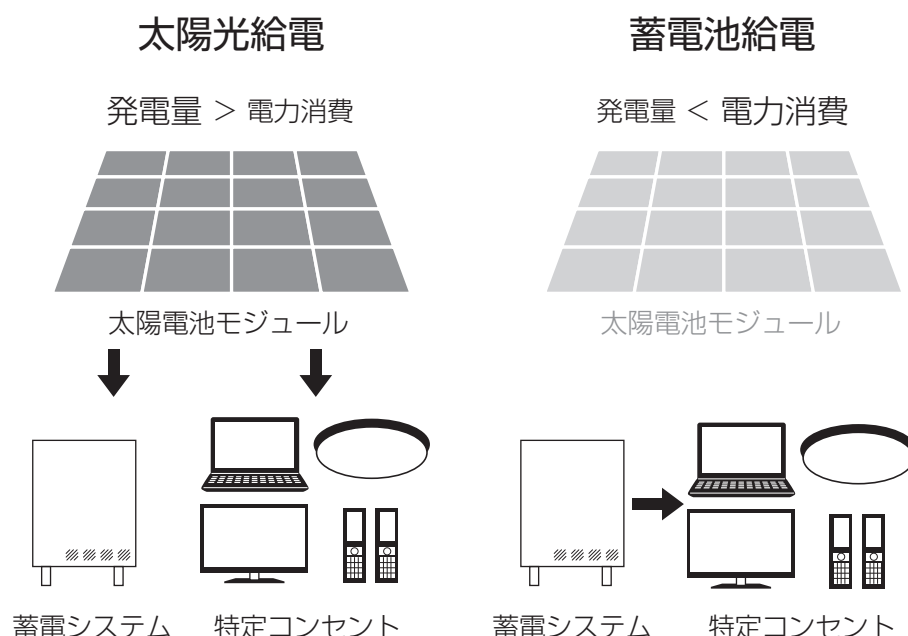
■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

※充電されない場合は、蓄電システム用ブレーカがオフになっていないか確認してください。

非常時の設定について

■ 太陽光発電システムが併設されている場合



太陽電池で発電した電力と負荷電力を判断しながら太陽光給電と蓄電池給電を自動で切り換えます。

●太陽光給電は、太陽電池から特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電を行います。

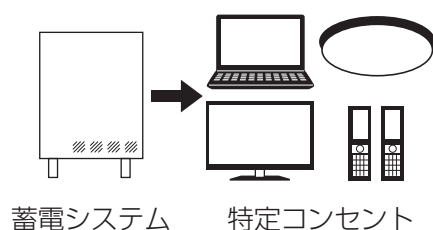
特定コンセントでの消費電力が大きいと充電できない場合があります。太陽電池で発電した電力が小さい場合、特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともにできない場合があります。

蓄電池残量がなくなってしまった場合は、特定コンセントへの給電状態によらず、太陽電池で発電した電力を強制的に充電します。

- 全てのパワーコンディショナについて本製品の動作を保証するものではありません。機種によっては、本製品の充電に必要な電力を発電していても、ノイズの影響などで充電が正常に行われない可能性があります。
- パワーコンディショナの自立出力は、天候の変化などによって不安定になります。発電量が本製品の充電に必要な電力を下回った場合、パワーコンディショナが過負荷（出力が足りない状態）を検出して停止することがあります。停止した場合は本製品への充電を中止し、天候の回復を待ってから充電を試みてください。
- 過負荷の状態で本製品への充電を継続した場合、パワーコンディショナの機種によっては自立出力の自動復帰と停止を繰り返すことがあります。（自立出力が停止している間は、本製品の蓄電池から接続機器へ電力を供給します。）
- 特定コンセントに接続している機器の電流波形によっては機器の消費電力が本製品の最大出力値以内であってもパワーコンディショナが過負荷となり自立出力を停止します。

●蓄電池給電は、蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

■ 太陽光発電システムが併設されていない場合



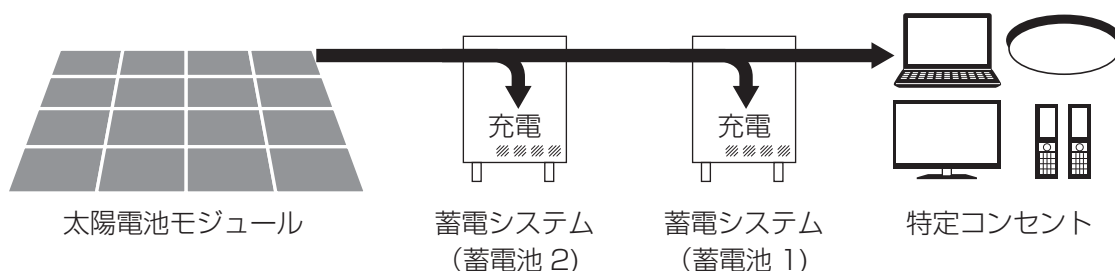
●蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

2台設置(増設)機能について

■ 停電時

●太陽光発電システムが併設されている場合

- ・ 太陽電池で発電した電力を2台の蓄電システムに充電します。
 - ・ 太陽電池から充電できる最大充電電力は2台合計で1.5 kVAです。
 - ・ 充電電力は設置時に設定されたPV自立引き込み電流値を上限として、太陽電池で発電した電力と特定コンセントでの消費電力に応じて充電電力が変動します。
- PV引き込み電流値は、2台合計分の値であり、値に応じて各蓄電システムに自動で分配されます。

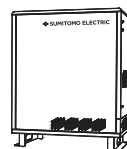


●太陽光発電システムが併設されていない場合

- ・ 2台設置(増設)することで特定コンセントへの給電時間が増加します。
- ・ 最大出力電力は1.5 kVAです。

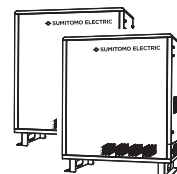
3.2 kWh
モデル

使用可能時間約9時間*



6.4 kWh
モデル

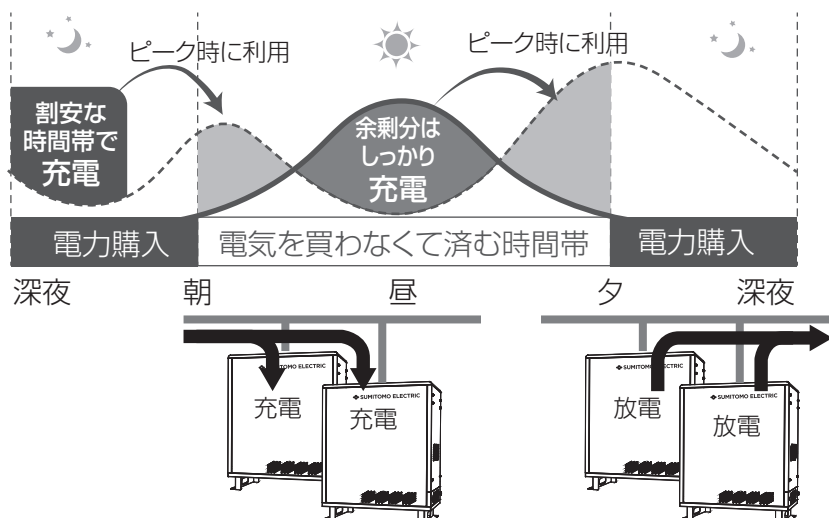
使用可能時間約17時間*



※特定コンセントに約300 Wの家電が接続されている場合のおおよその目安です。
蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。

■ 通常時

- 昼間、太陽電池により発電した電力の余剰分をしっかりと2台の蓄電システムに充電し、負荷消費が増える夜の電力使用に活用します。
- 2台設置することで太陽電池で発電した電力の余剰分をより多く充電し使用することができるため、電力会社から購入する電力を減らすことができます。
- 2台設置することで充放電電力が最大で合計2.0 kWになります。



放電を停止する電池残量を設定する

系統連系運転時の放電を停止するときの電池残量を設定できます。
なお、電気のご使用状況等によっては、設定した電池残量を下回る場合があります。
自立運転時の放電停止の電池残量は0%です。

工場出荷時 30%

- 1  を押す
メニュー項目が表示されます。
- 2   で「チクデンチセッテイ」を選び、 を押す
蓄電池設定の画面が表示されます。
- 3   で「ハウデンティシSOC」を選ぶ
- 4   で残量を選ぶ
0～50%まで10%刻みで選ぶことができます。
- 5  を押して終了する
 を押すと入力をキャンセルして終了します。

メニュー (1/6)
チクデンチセッテイ

チクデンチセッテイ (1/4)
ウソテンモード ツウジ ヨウ

チクデンチセッテイ (2/4)
ハウデンティシSOC 30%

チクデンチセッテイ (2/4)
ハウデンティシSOC 20%

充放電の時間を設定する

通常運転時の充電開始／停止時刻、放電開始／停止時刻を設定できます。
運転モードが通常モードの場合、充電と放電タイマーの両方が設定できます。グリーンモードの場合、充電タイマーのみ設定できます。通常モードでは、充電タイマーは必ず設定してください。設定されていないと蓄電池の残量が空になり停止してしまいます。また、放電タイマーを「ユウコウ」に設定しなくとも、負荷容量に合わせて放電(最大1.0kW)します。運転モードがグリーンモードの場合は、充電タイマーと充電停止SOCを設定できます。通常モードでは充電停止SOCは100%です。充電タイマーの設定時間外の充電停止SOCは100%です。運転モードを変更した場合は、充電タイマーの設定時間が正しい時間であることをご確認ください。
運転モードがグリーンモードの場合、充電タイマー以外に充電停止SOCを設定できます。充電タイマー期間内にのみ適用されます。充電タイマー期間外や運転モードが通常モードの場合は充電停止SOCは100%です。
※周囲温度が低い場合、設定された充電タイマー時間内に100%にならない場合がありますが故障ではありません。
2台設置(増設)時には、両方の充電タイマーを同一の設定値にしてください。

工場出荷時 通常モード : 充電タイマー(ユウコウ: 23:00～6:59)、放電タイマー(ムコウ: 7:00～22:59)
グリーンモード : 充電タイマー(ユウコウ: 23:00～6:59)、充電停止SOC(50%)

- 1  を押す
メニュー項目が表示されます。
- 2   で「チクデンチセッテイ」を選び、 を押す
蓄電池設定の画面が表示されます。
- 3   で「ジユウデントアイマー」または「ハウデントアイマー」を選ぶ
- 4   で「ユウコウ」を選び、 を押す
充電時間および放電時間の設定画面が表示されます。
- 5     でそれぞれの時刻を入力し、 を押す
- 6   で残量を選ぶ
グリーンモードのみ表示され、50～100%まで10%刻みで選ぶことができます。
- 7  を押して終了する

メニュー (1/6)
チクデンチセッテイ

チクデンチセッテイ (1/4)
ウソテンモード ツウジ ヨウ

チクデンチセッテイ (3/4)
ジユウデントアイマー ムコウ

チクデンチセッテイ (3/4)
ジユウデントアイマー ユウコウ

ジユウデントアイマー
23:00 → 06:59

ジユウデントアイシSOC
50%

ネットワークの設定をする

本システムを使用するにはインターネット接続が必須です。

ご使用の前にご利用のネットワーク環境にあわせて無線LANルータに接続し、本システムのネットワーク設定を行ってください。無線LANルータの種類によって接続方法が異なります。

工場出荷時 ECHONETLite：ユウコウ

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクテンチセツテイ

2 で「ネットワークセッテイ」を選び、 を押す

ネットワークの設定項目が表示されます。

ネットワークセッテイ (1/4)
WiFiセツゾクセツテイ

3 で設定する項目を選ぶ

WiFiセツゾクセツテイ	WiFiの設定を「WPS-PBC」※¹、「WPS-PIN」※¹、「シュドウ」から選びます。 • WPS-PBC → WPSプッシュボタン方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的にを行います。 • WPS-PIN → WPS PINコード方式を使用し、無線LANルータとの接続設定を自動的にを行います。 • シュドウ → 無線LANルータのSSID、接続するためのセキュリティ設定、パスワード、IP設定を行います。 無線LANルータに「WPS」「AOSS」「らくらく無線スタート」と表記されたボタンがある場合は、「WPS-PBC」を選択し接続を試みてください。 上記のボタンが無い場合は、「シュドウ」を選択し接続を試みてください。 「WPS-PIN」は、無線LANルータによってPINコードの入力方法が異なる為、入力方法がわかる場合のみ選択してください。 設定の詳細は「無線LANルータとの接続手順」(➡ P.25)をご確認ください。 リモコンと無線LANルータとの接続が完了すると、リモコン画面に  が表示されます。
ECHONETLite※ ²	ECHONETLiteの有効、無効を設定します。 有効にすることでECHONETLite対応のコントローラと接続が可能です。

※¹: WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、無線LAN端末と簡単に無線接続させるための機能です。

※²: エコネットコンソーシアムが策定したHEMS(Home Energy Management System)の通信規格です。ECHONETLite対応機器から充電・放電の制御を受け付けることができます。操作方法に関しては対応機器の取扱説明書をご確認ください。
ECHONET Lite Release I に対応しています。

4 でそれぞれの設定値を選ぶ

5 を押して終了する

 を押すと入力をキャンセルして終了します。

無線LANルータとの接続手順

●WPS-PBCを使用する場合

Wi-Fi接続設定から「WPS-PBC」を選択し、 を押し
接続する無線LANルータのWPSを開始する

WiFiセツゾクセッテイ
WPS-PBC

※無線LANルータ側のWPSを開始する方法はお手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。

- ・ 正常に接続できた場合 、できなかった場合  が表示されます。

※無線LANルータのWPS開始タイミング等で失敗する場合があります。失敗した場合、再度やり直してください。

●WPS-PINを使用する場合

- ① Wi-Fi接続設定から「WPS-PIN」を選択し、 を押す
- ② 表示された8桁のPINコードを無線LANルータに入力後、 を押し
WPSを開始する

WiFiセツゾクセッテイ
WPS-PIN

※無線LANルータ側のPINコード入力方法についてはお手持ちの無線LANルータの取扱説明書をご確認ください。

- ・ 正常に接続できた場合 、できなかった場合  が表示されます。

※無線LANルータのWPS開始タイミング等で失敗する場合があります。失敗した場合、再度やり直してください。

●手動で設定する場合

- ① Wi-Fi接続設定から「シュドウ」を選択し、 を押す

WiFiセツゾクセッテイ
シュドウ

- ② 無線LANルータのSSIDを入力して  を押す

SSID

- ③ セキュリティ設定を、設定なしまたは、WPA2-PSKから選択し、 を押す

セキュリティ
WPA2-PSK

セキュリティ設定がWPA2-PSKの場合、無線LANルータに記載の
パスワードを入力して、 を押す。

パスワード
*****0

- ④ IP設定をDHCPまたは固定から選択し、 を押す

IP設定が固定の場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
の設定を行ってください。

IPセッテイ
DHCP

インターネットとの接続手順

を押して、インターネットとの接続確認を実施する

インターネット セツゾク
カクニンヲ オコナマス

- ・ 正常に接続できた場合 、できなかった場合  が表示されます。

※接続の確認には数分程度の時間がかかる場合があります。

※Wi-Fiが正しく接続ができている場合はP.12の無線接続の状態が接続中になります。

また、P.26のSSID、IPアドレスに接続情報が表示されます。

※接続に失敗した場合、「WiFiガセツゾクデキマセン」または「インターネットニ セツゾクデキマセン」のメッセージが
表示されます。対処方法についてはP.38をご確認ください。

●ネットワーク設定にあたってのお知らせ事項

ネットワーク設定に伴い、本製品の保守・品質改善を目的として、ネットワークを介して、製造元又はその委託先から機器の稼働状況などのデータを定期的に収集させて頂くことが可能になります。尚、この中にはお客様を特定できる個人情報は一切含まれません。収集・保管させて頂くデータは製品の保守・品質改善の目的のみに使用し、保管先において適切に管理を行います。

ネットワークの設定を確認する

ネットワークの接続やIPアドレスの設定、ネットワーク情報の確認ができます。

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チェックンセッテイ

2 で「ネットワークセッテイ」を選び、を押す

ネットワークの設定項目が表示されます。

ネットワークセッテイ (1/4)
WiFiセツゾクセッテイ

3 で「ネットワークジョウホウ」を選び、を押す

ネットワークの情報が表示されます。

ネットワークセッテイ (2/4)
ネットワークジョウホウ

4 で確認する情報を選ぶ

SSID	Wi-Fiにおける親機(AP)の識別名です。接続先のルータのSSIDが表示されます。	SSID XXXXXXXXXX
MACアドレス	ネットワーク機器のハードウェアとしてのアドレスです。変更することはできません。	MACアドレス 20:f8:5e:b8:9c:4
IPアドレス	ネットワーク上の機器を識別するためのアドレスです。	IPアドレス 192.168.2.100
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。	サブネットマスク 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入り口の役割を果たすように設定されたルータ等のアドレスです。	デフォルトゲートウェイ 192.168.2.1
ノードID [プロフィール]*	ECHONETLiteのノードプロフィール(ECHONETLite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。	ノードID[プロフィール] FE00003D0120F85E
ノードID [チェックンチ]*	ECHONETLiteの蓄電池クラス(ECHONETLite対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するためのIDです。	ノードID[チェックンチ] FE00003D0120F85E

※ECHONETLiteの設定が有効時にのみ表示されます。(➡ P.24)

5 を押して終了する

インターネットとの接続を確認する

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクデンスセッテイ

2 で「ネットワークセッテイ」を選び、を押す

ネットワークの設定項目が表示されます。

ネットワークセッテイ (1/4)
WiFiセツゾクセッテイ

3 で「セツゾクカクニン」を選び、を押す

インターネット接続の確認を行います。
最大で数分かかる場合があります。

セツゾクカクニンチュウ...
シバラクオマチクダサイ

4 結果を確認し、を押して終了する

インターネット接続に失敗した場合、以下のメッセージが表示されます。

NET ERROR
セツゾクニシツパ°イシマシタ

NET SUCCESS
セツゾクニセイコウシマシタ

接続に失敗した場合、「WiFiガセツゾクデキマセン」または「インターネットニ セツゾクデキマセン」のメッセージが表示されます。対処方法についてはP.38をご確認ください。

画面表示や操作音の設定を変える

画面の点灯時間やコントラスト、操作音、時刻表示などを、お好みで調整できます。

工場出荷時	LCDテントウ	: 1分
	LCDコントラスト	: LV5
	ブザーオン	: VOL1
	ソウサキーオン	: アリ
	ジコクヒョウジ	: 24Hr

- 1 を押す
メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクデ ンチセッテイ

- 2   で「リモコンセッテイ」を選び、 を押す
設定項目が表示されます。

リモコンセッテイ (1/5)
LCDテントウ 1分

- 3   で設定する項目を選ぶ
次の設定ができます。

リモコンセッテイ (2/5)
LCDコントラスト LV5

LCDテントウ	LCDを操作していない場合に、画面が消灯するまでの時間を「1分」「5分」「10分」から設定できます。
LCDコントラスト	LCDの文字の濃淡を10段階で調整できます。 「LV0」(淡い)…「LV5」…「LV9」(濃い)
ブザーオン	ブザー音の音量を3段階で設定できます。 「VOL0」(なし)、「VOL1」(小)、「VOL2」(大)
ソウサキーオン	画面操作音を「アリ」「ナシ」で設定できます。
ジコクヒョウジ	時刻表示を「ナシ」「24Hr」「AM/PM」で設定できます。

- 4   でそれぞれの設定値を選ぶ

リモコンセッテイ (2/5)
LCDコントラスト LV3

- 5  を押して終了する
 を押すと入力をキャンセルして終了します。

日時を設定する

現在の日時が設定できます。

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクテンチセツテイ

2 で「システム」を選び、を押す

設定項目が表示されます。

システム (1/3)
ジ コクニュウリョク

3 で「ジコクニュウリョク」を選び、を押す

現在設定されている時刻が表示されます。

ジ コクニュウリョク
2017/12/01 23:59

4 で現在の日時を入力する

ジ コクニュウリョク
2017/12/24 12:00

5 を押して終了する

を押すと入力をキャンセルして終了します。

- 現在時刻は長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧め致します。
現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生してしまいます。

設定を初期化する

システムの設定を初期化できます。

1 を押す

メニュー項目が表示されます。

メニュー (1/6)
チクテンチセッテイ

2 で「システム」を選び、を押す

設定項目が表示されます。

システム (1/3)
ジコクニュウリョク

3 で「セッテイショキカ」を選び、を押す

確認メッセージが表示されます。

システム (3/3)
セッテイショキカ

4 で「ハイ」を選び、を押す

「イエエ」を選ぶと初期化をキャンセルして終了します。

セッテイショキカ
ショキカシマスカ? ハイ

5 初期化が始まります

初期化が完了すると手順3に戻ります。下記項目が初期化されます。

蓄電池設定	初期化後の値(初期値)
運転・停止状態	停止
蓄電池運転モード	通常
放電停止SOC	30%
充電タイマー情報(通常モード時)	有効/23:00~6:59
充電タイマー情報(グリーンモード時)	有効/23:00~6:59、充電停止SOC/50%
放電タイマー情報(通常モード時)	無効/7:00~22:59
リモコン設定	初期化後の値(初期値)
ブザー音設定	VOL1
操作キー音設定	有り
ディスプレイ点灯時間	1分
時刻表示設定	24Hr
LCDコントラスト	LV5
ECHONETLite情報	初期化後の値(初期値)
ECHONETLite有効/無効設定	有効

機器情報を確認する

機器が持っている情報や設定内容を確認できます。

- 1

を押す

メニュー項目が表示されます。
- 2

  で「キキジョウホウ」を選び、 を押す

確認できる項目が表示されます。
- 3

  で確認する項目を選ぶ

次の内容が確認できます。

メニュー (1/6)
チクデンチセッテイ

キキジョウホウ (1/8)
カドウニッスウ XXXXニチ

カドウニッスウ	この機器の稼働日数が確認できます。
リモコンNo. ホンタイNo.	リモコン、本体の固有番号が確認できます。
FW	リモコン、本体のファームウェアバージョンが確認できます。
ケイトウデンアツ	系統電圧が確認できます。
ケイトウデンリユウ	系統電流が確認できます。
ハツデンデンリユウ	発電CTが計測した電流を確認できます。
ショキセッテイ	設置日等の初期設定が確認できます。
セイテイチ	設定されている整定値が確認できます。

- 4

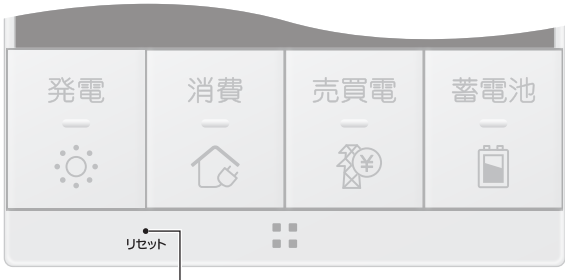
確認が終わったら、 を押して終了する

初期画面に戻ります。

室内リモコンをリセットする

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。リセットボタンを押すと、室内リモコンが再起動します。起動には数秒かかります。また、リセットボタンを5秒程度長押しすると、蓄電システムに記録している以下のデータを、工場出荷時の値に初期化することができます。

- 時刻設定
- 積算電力データ(日毎)
- 「設定を初期化する」で初期化される項目(➡ P.30)



クリップなど先のとがったものでリセットボタンを押す

メニューから設定できる項目



を押して設定できる項目は以下の通りです。

第一階層	第二階層	第三階層
チクデンチセッテイ	ウンデンモード	ツウジョウ
		グリーン
	ハウデンティシSOC	0%
		10%
		20%
		30%
		40%
		50%
	ジウデンタイマー	ムコウ
		ユウコウ
		ジウデンティシSOC(グリーンモードのみ設定可能)
	ハウデンタイマー (通常モードのみ設定可能)	ムコウ
		ユウコウ
ネットワークセッテイ	WiFiセツゾクセッテイ	WPS-PBC
		WPS-PIN
		シュドウ
	IPセッテイ	DHCP
		コテイ
	ECHONETLite	ユウコウ
リモコンセッテイ	LCDテントウ	ムコウ
		1フン
		5フン
	LCDコントラスト	10フン
		LV0 ~ LV9
	ブザーオン	VOL2 ~ VOL0
	ソウサキーオン	アリ
		ナシ
	ジコクヒョウジ	ナシ
		24Hr
		AM/PM
システム	ジコクニュウリョク	—
	セッテイシヨキカ	

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容にしたがって、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と、停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

●運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

60Aまでのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

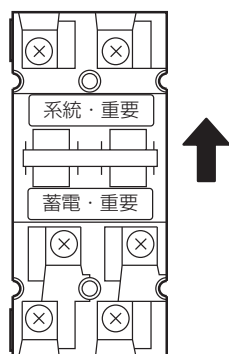
アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した(停止させる)場合

■ 切替スイッチが手動の場合

- 分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
分電盤内に「蓄電システム」のシールが貼ってあります。
- 分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。
※蓄電システムが停止すると、特定コンセントへは給電されません。必ず、「系統」側への切り替えを行ってください。



スイッチを上にあげて、「系統」側に切り替える。

※蓄電システムの故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ及び、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■ 切替スイッチが自動もしくは使用しない場合

- 特別な操作は必要ありません。

こんなときは つづき

特定回路が頻繁に落ちる場合

特定回路の定格出力は1500Wです。接続している家電製品を減らす等、定格を超えないように工夫してください。本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。接続している家電製品をさらに減らしてください。なお、通常の系統連系運転においても本体周囲温度が高温または低温時には、電池保護のため充放電出力が定格より小さくなる場合があります。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

●停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。シャットダウンした場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合

「停電になったときは」(➡ P.20)と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、自動で充電が開始されます。

1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
3. 電力が太陽電池から供給されると、自動で充電が開始されます。

※運転が開始しない場合は、室内リモコンで運転が開始されていることを確認してください。(➡ P.16)

■ 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

停電から復旧すると自動で充電を開始します。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

※充電されない場合は、蓄電システム用ブレーカがオフになっていないか確認してください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

●停電状態以外で、室内リモコン画面が表示されない場合は、本体の保護でシステムがシャットダウン、または室内リモコンが故障している可能性があります。

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

●停電状態で、室内リモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。

「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

長期不在の場合

●長期不在にする場合は、通常の連系運転(➡ P.16)で運転したまま、蓄電システム用分電盤の「蓄電システム用ブレーカ」と一般負荷分電盤の「契約ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

また、通常モードの場合、放電タイマーは「ムコウ」に設定してください(➡ P.23)。グリーンモードの場合は、放電タイマーの設定はありません。

こんなエラーが出たときは

表示について

室内リモコン本体



表示画面

操作キー

お知らせなどの表示画面は次の4種類があります。

(1) お知らせ表示①

Caution
code : CXX

この表示が出ても故障ではありません。

●を押してください。(➡ P.36)

(2) お知らせ表示②

Warning
code : WXX

この表示が出ても故障ではありません。

●を押してください。(➡ P.36)

(3) エラー表示

Error
code : EXX

この表示が出ても故障ではありません。

●を押してください。(➡ P.36)

繰り返しエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

(4) 故障表示

Fault
code : FXX

Error
code : RXX

この表示が出たら故障です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

ただし、「R01」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

※「XX」には、2桁の数字が入ります。

こんなエラーが出たときは つづき

エラーの種類

エラーには次の種類があります。エラーコードが表示された場合、エラー音が出ます。

● を押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラーコード	内容および処置	エラー音
Fault code : FXX	お客様では復帰できないエラーです。 お買い上げの販売会社へご連絡ください。 「メッセージの種類」(➡ P.37)	ピピピピピ...
Error code : EXX	お客様で復帰可能なエラーです。 ● を押して表示されるメッセージにしたがって操作してください。 「メッセージの種類」(➡ P.37) エラーカイジ ヨ カイジ ヨシマスカ? ハイ 運転を再開するには、「ハイ」を選択し、● を押してください。	ピピピーピピピーピピピー
Error code : RXX	リモコンの異常です。 R01: 本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。 R02、R03: お客様では復帰できないエラーです。お買い上げの販売会社へご連絡ください。 「メッセージの種類」(➡ P.37)	ピピーピピーピピー ピピピーピピピーピピピー
Warning code : WXX Caution code : CXX	警告・通知エラーです。 エラーコードに応じたメッセージが約2秒ごとに切り替わり表示されます。 (エラーコードに応じたメッセージが無い場合は表示されません) ● を押してください。 「メッセージの種類」(➡ P.37、P.38)	ピピーピピーピピー
Error (1/3) code : EXX △ ▽ Caution (3/3) code : CXX	複数のエラーが発生した場合、△ ▽ で表示を切り替えてください。	ピーピーピー

お買い上げの販売会社へご連絡していただく際には、画面に表示されるエラーの種類、点検コードもご連絡ください。

エラーの種類

Fault
code : FXX

点検コード

メッセージの種類

■異常メッセージの内容と処置

異常メッセージ		処置
E02、E04、E07、E08、E10、E11、E12、E13、E22、E32、E33、E34、E35、E36、E40、E41、E52、E56、E57、E60、E61、E64、E91、E93、E94	システムガティシシマシタ エラーカイジョシマスカ?	電気機器に異常がないことを確認してエラー解除してください。 自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
R01	システムガティシシマシタ サポートヘレンラククダサイ	本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。 メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
F20、F43、F51、F52、F54、F55、F5A、F5B、F5C～F5W、F64、F91、F92、F95、F96、F97、R02、R03	システムガティシシマシタ サポートヘレンラククダサイ	分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」にし、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■警告メッセージの内容と処置

警告メッセージ		処置
W00、W01、W03	システムガティシシマシタ ジドウテキニフッキシマス	系統電圧の異常を検出して停止しました。 自動的に復帰します。
W21	ホジョニュウリョクヲテイシ ジドウテキニフッキシマス	接続しているPV用パワーコンディショナの異常を検出して停止しました。 PV用パワーコンディショナの異常が解除されると自動的に復帰します。
W30、W50	デンチザンリョウナシ ジュウデンシテクダサイ	電池残量が少なくなっているので充電してください。 (「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」(➡ P.34)と同じ操作をしてください。) さらに蓄電池残量がなくなるとシステムがシャットダウンします。
W34	カフカデティシシマシタ キキヲヘラシテクダサイ	接続された電気機器の使用電力が超過しています。 電気機器を減らしてください。 自動的に復帰します。
W41	テイオンチュウイ システムガティシシマシタ ジドウテキニフッキシマス	本体内の温度センサが、-10℃未満を感知すると表示されます。 エラー解除等の操作の必要はありません。 -10℃以上になると自動的に復帰します。
W42	コウオンチュウイ フィルターカクニクダサイ システムガティシシマシタ ジドウテキニフッキシマス	●本体内の温度センサが、+40℃超過を感知すると表示されます。 エラー解除等の操作の必要はありません。 +40℃以下になると自動的に復帰します。 ●本体のフィルタにゴミが付着している、あるいはフィルタ付近に障害物があり、吸気が十分できていない状態が考えられます。本体のフィルタを「点検とお手入れ」(➡ P.39)にしたがって掃除を行ってください。障害物がある場合は障害物を移動させてください。
W51	システムガティシシマシタ ジドウテキニフッキシマス	電池残量が少なくなっているので充電してください。 さらに蓄電池残量がなくなるとシステムがシャットダウンします。
W54、W55	システムガティシシマシタ ジドウテキニフッキシマス	電池の温度が上昇または低下しています。 温度が低下または上昇するまでしばらくお待ちください。 自動的に復帰します。
W65	システムガティシシマシタ サポートヘレンラククダサイ	繰り返し発生する場合は、分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」にし、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

こんなエラーが出たときは つづき

■注意メッセージの内容と処置

注意メッセージ		内容または処置
C08	オティレシテクダサイ	初回設置日から1年経過ごとに通知します。蓄電システム吸排気口周辺の清掃とフィルタの点検および清掃をお願いします。(➡ P.39)
C09	9ネンケイカシマシタ	初回設置日から9年が経過しました。
C10	10ネンケイカシマシタ	初回設置日から10年が経過しました。
C12	カフカデス キキヨヘラシテクダサイ	接続された電気機器の使用電力が超過しています。 電気機器を減らしてください。
C15	15ネンケイカシマシタ	初回設置日から15年が経過しました。
C30	デンチザンリョウショウ	電池残量が少なくなっているので充電してください。(➡ P.34) 残量が0になると自動的に放電を停止します。 さらに蓄電池残量がなくなるとシステムがシャットダウンします。
C51	テイデンシマシタ	手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「蓄電」側にしてください。
C52	ウンテンヨカイシシテクダサイ	蓄電池の電圧が低下しています。蓄電池保護のために至急運転を開始してください。 ➡ P.16「通常の連系運転」
C50	フクデンシマシタ	手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。

■その他のメッセージ

メッセージ	内容
キョウセイジュウデンチュウ	電池保護のため、蓄電池へ強制充電しています。
キョウセイホウデンチュウ	電池保護のため、蓄電池から強制放電しています。
キョウセイジュウデンチュウ テイシデキマセン	電池保護のため、蓄電池へ強制充電しています。 電池残量が非常に少なくなっている為、充電動作を停止できません。 電池残量が10%まで充電すると強制充電を終了します。
ネットワークノセツテイガ カンリョウシテイマセン	ネットワークの設定を実施してください。(➡ P.24、P.25)
WiFiガ セツゾクデキマセン	ご使用の無線LANルータを再起動してください。 WiFiルータの電波状況を確認して電波強度を確認してください。 ネットワークの設定を実施してください。(➡ P.24、P.25) それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
インターネットニ セツゾクデキマセン	蓄電システムと無線接続している、無線LANルータからインターネットに接続できるか確認してください。 (パソコン等でインターネットに接続できるか確認してください) 問題があれば、加入しているプロバイダーにご相談ください。 インターネット接続に問題がない場合は、ネットワークの設定を実施してください。 (➡ P.24、P.25) それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

■オプション品

品名	数量
フィルター	1 SET

点検とお手入れ

■ フィルタの掃除

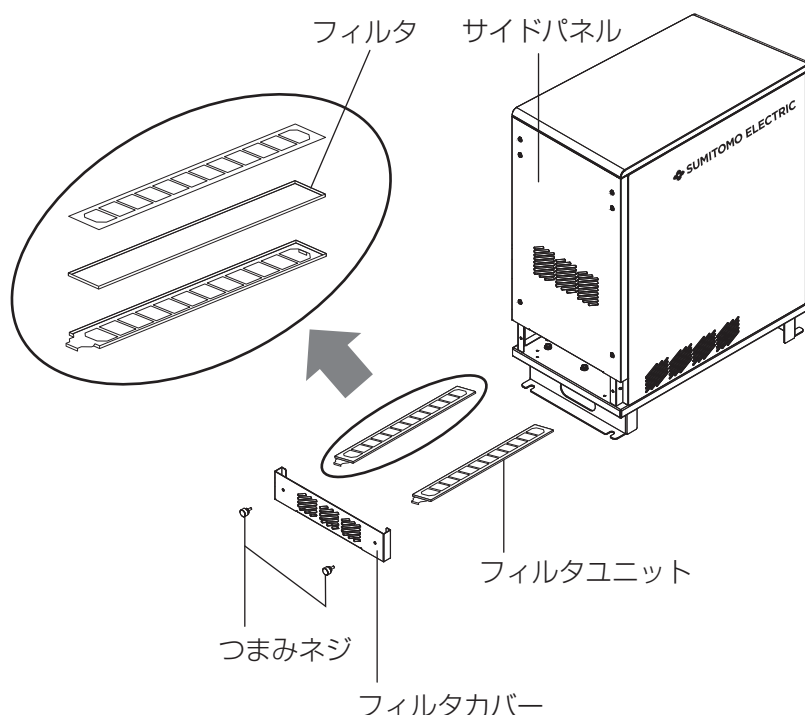
蓄電システム内にあるフィルターを定期的に掃除してください。また、紛失、破損した場合には、お買い上げの販売会社へご連絡頂き、新品を購入し交換してください。

もし、お知らせ表示画面に以下が表示されたときは、本体のフィルタにゴミが付着している、あるいはフィルタ付近に障害物があり、吸気が十分できていない状態が考えられます。

Warning
code : W42

下記にしたがって**本体のフィルタの掃除**を行ってください。(➡ P.8)

また、**障害物がある場合は障害物を移動**させてください。



1. サイドパネルの下側のフィルタカバーのつまみネジを2本外してフィルタカバーを取り外してください。
2. フィルタユニット2つを完全に引き出してください。
3. フィルタユニットに添え付けられているフィルタを取り外して、掃除機を利用するなどしてごみを取り除いてください。
4. 汚れがひどい場合には、水洗いをして汚れを落としてください。
5. 掃除済みフィルタをフィルタユニットに取り付け、本体に戻してください。
6. その後フィルタカバーを取り付け、つまみネジで固定してください。

■ 風水害または地震時の対応

- 風水害時に水没のおそれがあるときは、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。
- また、水没した場合には、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

● 特定コンセント用切替スイッチがある場合

※蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。
特定コンセント用切替スイッチはオプションになります。

停電時の家電製品の利用について

■ 特定コンセントの定格出力は、AC100V、1500VA(1500W)です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、特定コンセントに定格(1500VA)を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、特定コンセントへの給電をストップします。

下記の家電製品の特定コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、電動工具、洗濯機、オーディオ用等の電源アイソレータ等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、電気アイロン、IHクッキングヒーター、炊飯器等
瞬間的に大きな電流が流れる家電製品	動作しない場合がある	こたつ、調光機能付き照明器具、温水便座等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らして、蓄電システムを再起動させてください。
- 電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある機器に接続しないでください。
- 本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。なお、通常の系統連系運転においても本体周囲温度が高温または低温時には、電池保護のため充放電出力が定格より小さくなる場合があります。

■ 接続家電製品例

 ノートパソコン 30W	 リビング用照明 100W	合計 約300Wで最大9時間利用可能です。 ※おおよその目安です。蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。
 液晶テレビ 150W	 携帯電話充電 10W (2台)	

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証について

保証については各保証書の内容をよくお読みください。

お買い上げの際、製品に付属の「出荷証明書兼保証書」に住所、お名前、電話番号をわかりやすく記入いただき、「住友電工控」を弊社までお送りください。

その後、長期保証書を弊社より送付させていただきますので、紛失しないよう大切に保管してください。

注：出荷証明書兼保証書控を弊社までお送り頂けない場合は、長期保証書の発行ができなくなります。

アフターサービスについて

●ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社へお問い合わせください。

●修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- ・ お買い上げ時期
- ・ 装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- ・ 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

●移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

- ・ お客様ご自身では移設を行わないでください。

お客様の個人情報の取得・取扱いに関して

よくお読みください

本製品の販売、設置工事、アフターサービス等の業務（以下、本業務といいます。）の実施に際して住友電気工業株式会社（弊社）が取得するお客様に関する情報（以下、個人情報等といいます。）に関し、以下の事項をお知らせいたします。

1. 弊社が取得する個人情報等の取扱い

弊社は、本業務の実施に際して「出荷証明書兼保証書」にご記載頂いた情報、設置工事に際してヒアリングさせて頂いた情報、その他アフターサービス（販売店へのお問い合わせ対応、専用ダイヤルへのお問い合わせ対応を含みます。）を通じて取得した情報等に含まれるお客様の個人情報等を、個人情報保護に関する法令およびその他の規範、弊社の個人情報の管理・保護に関する基本方針「個人情報保護方針」（以下、基本方針といいます。）ならびにその他関連するガイドライン等に基づき、適切にこれを取り扱います。又、弊社は、個人情報等の正確性及び安全性を確保するため、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報等への不正アクセス又は個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい等の防止を図ります。

2. 個人情報等の利用目的

弊社は、前項のお客様の個人情報等を、本製品及び関連するサービスの提供・提案、その他情報提供（カタログの送付を含む）、契約の履行、サポート対応、通知者のその他製品・サービスのご案内、製品開発、商談、打ち合わせ、連絡、セミナー、展示会、イベントについての情報提供、お問い合わせ・ご相談への対応、アンケート調査実施、分析等の目的に限り利用させていただきます。

3. 個人情報等の第三者への提供

- 弊社は、個人情報等の利用目的の達成に必要な限度において、個人情報保護に関する措置を講じたうえで、個人情報等を販売店、中間流通事業者、設置工事業者、アフターサービスの業務委託先等に提供することがあります。
- 弊社は、匿名加工情報を第三者に提供する場合、法令に従って匿名加工情報の作成または第三者への提供に際してその旨を公表又は個別にお客様に通知し、もしくはお客様の同意の取得をいたします。
- 上記の他、弊社は、お客様の同意を得た場合又は法令に定めのある場合を除き、お客様の個人情報等を第三者に提供いたしません。

4. 保有個人データの開示、訂正、利用停止等

弊社は、法令に定める保有個人データについてお客様ご本人から開示、訂正、利用停止等の請求がある場合には、それぞれ基本方針及びその細則に所定の金額・方法により適切に応じます。

5. 個人情報に関するお問合せ窓口

事業者の名称： 住友電気工業株式会社
お問合せ窓口： エネルギーソリューション営業部 個人情報管理担当
住 所： 〒107-8468 東京都港区元赤坂一丁目3番13号
電 話 番 号： 03-6406-2798（受付時間： 平日9:00～17:00）

6. ご参考

- 最新の基本方針及び細則は弊社のウェブサイト（<https://www.sei.co.jp/privacy/>）から閲覧できますので、ご確認頂きますようお願い申し上げます。又、本製品に固有のお客様の個人情報の取得・取扱いについては、本製品のプロモーションサイトにおいても公表している場合がありますので、併せてご確認頂きますようお願い申し上げます。
- 尚、基本方針及びその細則（本項目の内容を含みます。）は、必要に応じて、予告なく変更されることがあります。法令上お客様の同意が必要となる変更を実施する場合、変更後の内容は当社所定の方法により当該お客様の同意が確認されたものが有効となります。

仕様

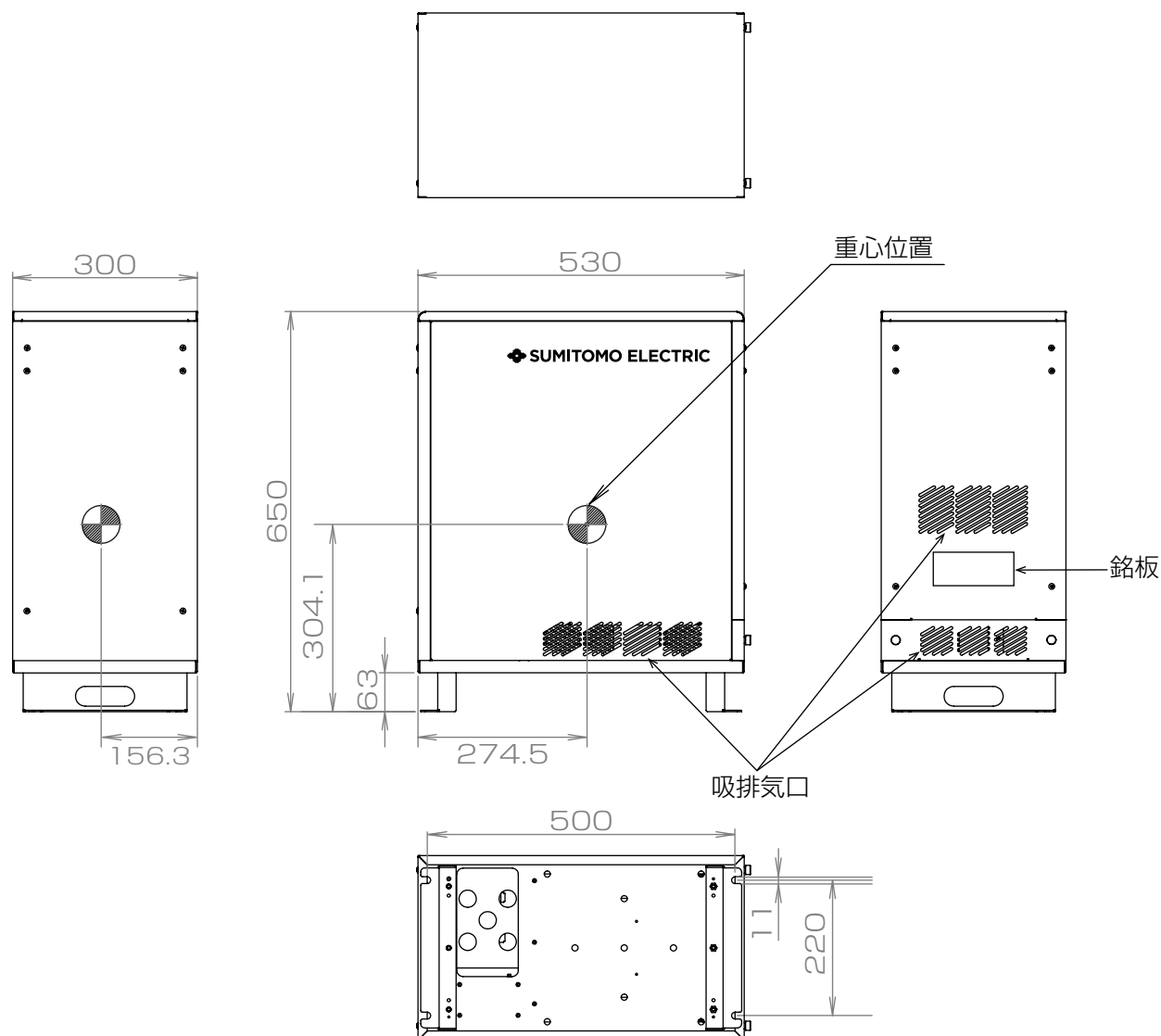
型番		PDS-1500S01
外形寸法	本体	W530 × H650 × D300 mm
	リモコン	W100 × H130 × D23.2 mm
質量	本体	約55 kg
	リモコン	約230 g
蓄電池	蓄電池容量	3.2 kWh(2台設置(増設)時: 6.4 kWh)
	初期実効容量	2.7 kWh(JEM 1511による)
	蓄電池種類	リチウムイオン電池
	蓄電池定格電圧	DC103.6 V(単セル当たりの電圧: 3.7 V)
系統連系運転時定格	定格出力	1.0 kW(2台設置(増設)時: 2.0 kW)
	定格出力電圧	AC202 V(単相2線式、ただし接続は単相3線式)
	定格電圧範囲	AC202 V ± 20 V
	定格周波数	50または60 Hz
	出力基本波力率	約1(定格出力時)
	出力電流歪率	総合電流歪率5 %、各次電流歪率3 %以下(定格出力時)
	電力変換効率	95.5 %※ ¹
自立出力定格	最大出力	1.5 kVA
	出力電流	最大15 A
	出力電気方式	単相2線式
	定格出力周波数	50または60 Hz
PV自立入力定格	最大入力	1.5 kVA
	入力電気方式	単相2線式
動作温度		-10~40 °C※ ²

※1: JIS C 8961に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します(蓄電池定格電圧)。

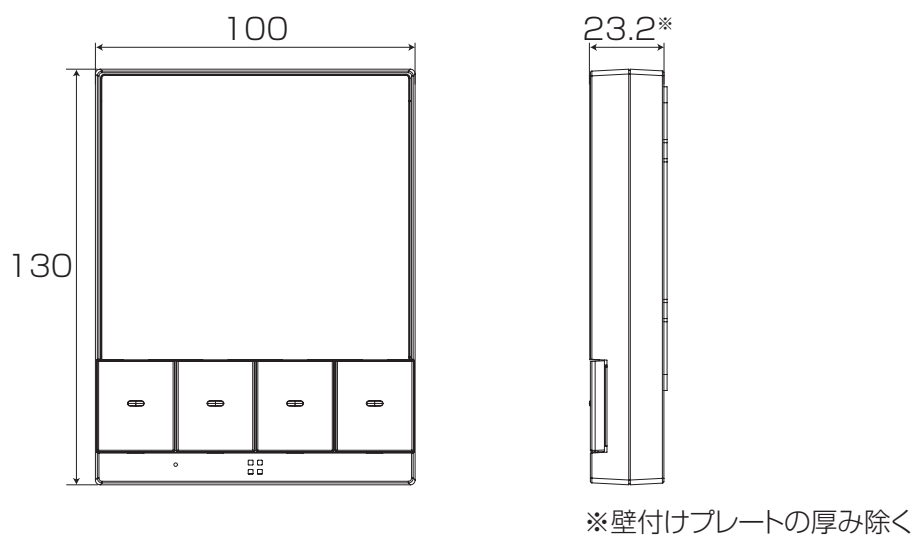
※2: 本体内の温度センサの計測値によります。

外形寸法

■本体 (約55 kg)



■室内リモコン (約230 g)



単位:mm

メモ

Handwriting practice area with horizontal dotted lines.

メモ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

メモ

Handwriting practice area with 20 horizontal dotted lines.

住友電気工業株式会社

修理・アフターメンテナンス
のご用命は、
「弊社専用ダイヤル」へ



0120-690-285 (無料)

受付時間 平日・土・日・祝 9:00～17:00
(ただし、大型連休時は
受け付けておりません)

住友電気工業株式会社

〒554-0024 大阪市此花区島屋1丁目1番地3号

当説明書に記載の情報は2019年6月時点のものです。



PC18-PD3-S037R3